

校長室から感じたままに No 6

9月29日(日)の秋季市民陸上競技大会に向けて、5, 6年生の子供たちが練習に励んでいます。朝練習の時間は普段より登校が少し早くなるのですが、たくさんの子供たちが元気に練習に参加しています。私たち大人は、子供たちがそれぞれ目標に向かって頑張る姿を応援したくなります。

私は、朝昇降口に立っているの、練習を終えた子供たちがそこを通るのですが、みんな口々に練習の時のことを話しています。

「校長先生、記録が1秒速くなりました」と嬉しそうな子には、「陸上の1秒は、すごいことだよ。明日も頑張る。」と声をかけます。すると、ニコニコして教室に向かっていきました。

「今日は、どうも思うようにいかなかった」という子には、「そういう日もあるよ。また明日から頑張ろう。」と声をかけます。するとニコッと「はい。」と・・・言葉は少なくともきっと、また明日も頑張る練習に参加するだろうと願い、背中を見送ります。

子供たちには、経験を通して学ぶことがたくさんあると思います。その時、結果が出ずに悔しい思いをすることも、練習が辛いと思うことも、記録が伸びて達成感を感じることも。それは陸上大会だけではなく、色々な場面で経験することです。その時に感じたことは、どんなことでも子供にとって力になっていきます。ぜひ、チャレンジする子供たちを、一步を踏み出す子供たちを目指して、ご家庭でも子供たちの背中をおしていただけましたら嬉しいです。